

平成30年度 図書館利用者と館長との懇談会 ～利用者からの意見等への回答(概要)～

【対応状況・凡例】

- ◎ 現在対応済みの項目
- 早急に対応を行う項目
- 施策・事業を実施していく中で取り組むまたは検討する項目
- － 対応が困難な項目

番号	利用者からの意見・要望の概要	図書館の考え方	対応状況
1	日本大学芸術学部では、学生たちが同人誌などの冊子をいろいろ制作している。学外の人目に触れる機会が少ないので、小竹図書館に置いてもらうことはできないか。	館内閲覧という形で、地域資料コーナーに設置することなら可能です。詳細については図書館へお問い合わせください。	□
2	小竹図書館の展示本コーナーからよく時節に合った本を借りている。紙しばいも季節に沿った展示などをしてもらえないか。	館内スペースに制約があり、紙しばいを展示するスペースをどこに設けるかが課題になります。すぐに実現させることは難しいと思われますが、今後検討していきます。	□
3	保育園・幼稚園の教諭用の専門書をもう少し充実させてほしい。	今後の選書の際に留意しますが、小規模館のため蔵書数に限りがあり、専門書を多く取り揃えることは難しいのが実情です。練馬区内にない専門書については、所蔵のある他市区町村や都立の図書館から取り寄せることもできますので、詳細については図書館職員へご相談ください。	□
4	ボードゲームは、欧米では大人も楽しむポピュラーな娯楽だ。図書館でもボードゲームを資料として貸出することはできないか。	興味深いご意見ですが、ボードゲームは細かいパーツが多く、管理が難しい点があります。また本のようにしっかりした流通システムが構築されていないことなどから、すぐに対応するのは難しいと思われます。	－

5	気に入った本がある。今ではもう流通していない古い本なので、除籍後に連絡いただくことはできないか。	該当の本がいつ除籍になるのか予想がつかないうえ、特定の個人に対し、事前に本を差し上げると約束することは公共図書館として対応できかねます。本の状態にもよりますが、除籍本は館内のリサイクルコーナーに設置されますので、定期的にご確認ください。	—
6	高齢者が遊べる場所がない。図書館で高齢者の集まる日とかあってもいいのではないかな。	小竹図書館では、高齢者向けのイベントも随時、開催しています。今後、さらに充実させるように取り組んでいきます。	◎
7	私は小竹図書館が設立される時に、地域で運動した一人である。設立にまつわる資料などがあるので、小竹図書館に寄贈したい。	小竹図書館にとって貴重な資料ですので、所蔵、保管したいと思います。	□
8	年をとると本を読むスピードが遅くなり、単行本を2週間で読めなくなった。延長してもらえないかな。	次の予約が入っていなければ、貸出延長することができます。本を持ってこなくても、カウンターでお申し出いただければその場で手続きできます。また、電話でも貸し出し延長は可能です。	◎
9	小竹図書館は、イベントが多いし、内容が良いが、まだまだイベントの開催を知らない人もいます。もっと広報したらどうか。	現在も敬老館や保育園といった周辺施設や町会会館などにチラシを設置してもらったり、江古田駅周辺のお店にポスターを掲示してもらったりしていますが、今後一層協力機関を増やせるよう努めていきます。	◎